

刊夕 日二十月一



定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
発行所 常磐新報社 印刷所 常磐印刷株式会社

學校から (2)

家庭へ注文

平第一小學校 篠山 廉

(承前) 學校教育と家庭の教育とを全然別個に考へて居る人が多い様ですが、人間の教育は、生活そのものでいかなければならない。其点學校生活は範圍がせまから勿論家庭には及びません父兄の中には神經過敏なものがあつて、學習の問題を大そう心配して入學試験でも大体に於て父兄は一つでも通信簿の點がよくなることを願うのであります。が、もう少し眼界を廣くして成績のみに捉はれず家庭の中で子供の個性を考へてやる必要があります。熱心な父兄ほどさういふ傾きがあるやうです。

ノート

親燕の我 國滞在期間は約百九十日一日平均百四十四羽の捕虫数は二萬六千六百匹となる

話にはちよつと外になりませんが幼稚園から大學までを考へて見ますと例へば、昔伊藤仁齋とか山崎闇齋とかの塾に學んだ頃の人は七つ八つの頃から、三十歳四十

歳までも一人の先生に就いて、終始一貫して或る一つの人格の感化を受けました。が、今は小學校から中學校大學と段々に違つた人生觀を持つた先生に教へを受けらる。今の學生の思想がぐらつき易く、いろ／＼問題が起るのも、こんな處に原因

立献の目明

- 【朝】味噌汁—ねぎ 小付 いんげん豆
- 【晝】焼物—鹽鮭
- 【晚】清汁—流玉子 三つ葉 豚肉 生姜

がありはしないかと思ひますがそれならば、一貫した方針を以て人格陶冶は誰がやつたらよいかといひます。とは私は父親なり母親ではないかと思ひます。さういふ事を考へると家庭がしつかりして居つて、統一のない、又一方智能に片寄つてゐる今の教育の缺點を補つて行かなくてはならないと思ひます。學校教育は主として知識技能を多分にする。之が悪

間が社會人として立つて行く上には必要なものですが然し、矢張り力を與へる廣い意味の教育は家庭でなければならぬ。よく子供が學校に入ると、學校にお委せしたから、うちでは何もわかりませんから宜しくお願ひしますといふお母様がある。あたかも之が先生への禮儀の如き感じを持つてゐる人がありますが、母親として考へべきものではないかと思ひます。



俳句

松の内。 飯田 春鳥

冬ざれのものを縫ふにも寒さかな 大根を積み重ねたる寒さかな 松の内向ふ鉢巻したりけり 桃割と島田とかたる松の内 知る家の初荷飾りしすがたかな 町角いまた會ひにける初荷かな 簞入のちかき心のおどりけり 朝寒み燈明あげてひとりかな

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七

謹賀新年
新年お目出度う 御座います。 本年も相變らず 御引立の程を願 上げます。
調理部 今成 齋一 子子子る子郎
あもすかそ いとみほめ

(非常時)
燃料報國の大特賣
火鉢附煉炭大賣出し
煉炭十四ヶ(一ヶ五錢) 壹組
三徳火をこし 壹圓七拾錢
日本一クサクナイ煉炭、豆炭
演通り代理店
驛前 酒井伴城商店
販賣店 三丁目 磐崎屋酒店

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切 料金は極めて低廉で
町導 妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 炊事や雜用 年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

齒科 口腔外科
レントゲン科
院長 東京 醫學士 柏倉武男
東京 齒科 醫學士 齋藤 武男
平町土橋通り 電話三一三番
原齒科醫院

外科 内臓外科
レントゲン線
病室完備
博醫學士 諸橋 鐵彌
◎新川町二七(電四六四)

無理算段の

町村財政に

交附金制度設定

平町からも意見書提出

町村の財政は年々法令其他に基き義務負擔が増額する一方に財源は益々涸渇するばかりで己むなく無理算段の豫算を編成し其日暮しの

當面の喫緊要務なり、政府は宜しく地方自治体の財政力と税源分布の實情に鑑み速に地方財政調整交付金制度を實施せられんことを切望す、右町村制第四十三條に依り意見書提出候也

が斯かる状態が繼續すれば自治体の基礎は全く根底から覆さるゝに至るべきを以つて此の難義な財政を調整する爲め政府に交付金の制度を設けられたしとの要望は全國各町村より多年に亘り呼ばれて居る處であるが平町に於いても此の全國的の運動に

合流し 岡田首相、後藤内相、高橋藏相に意見書を提出せんと昨日午後一時より急務町會を開き左記意見書を井上議長の名に依つて提出すべく満場一致議決した

地方財政調整交付金制度を速に設定せられんことを望む(理由) 近時町村財政は法令其他に依る義務負擔の増嵩と財源の涸渇とに依り殆んど經理不能に陥り今や寒に憂ふべき情勢を以て推揚するの止むなき状態に在り、之を匡救し國民負擔の不均衡を是正するは常に務

仲の作漁港が

浚渫船を

借り受けて

修築を急ぐ

江名町字仲ノ作漁港の縣營修築工事は本月三月竣功する豫定なので修築事務所は毎日二百名の入夫を役使して港内浚渫作業を急いで居るが今回更に作業の能率増進を爲め宮城縣石巻港内の内務省築港事務所より七十噸浚渫船を借り受けた

箱崎水道主任辭職

小坂鑛山機械係長に榮進

平町水道部主任箱崎清一氏は今回秋田縣小坂鑛山の機械係長に就任し來る十六日赴任する事になつたが同氏は仙臺高等工業學校機械科の出身で長年鑛山機械主任を勤め昭和八年七月廿八日

高麗橋を中心として

(48)

眞木翁の懷古事談

奇傑 江政敏 (四)

漸く生活の安定を得て、前途の希望に踏出さんと期待した身にも、災禍は天より降り、地より湧く。それは郷里石城に残した老母が流行疫病に罹り生死の境に在るとの急報であつた。母は此世に只一人と、採るものも取り敢へず、急遽挺身

農林技師來郡

省の河原田技師は去る十日本縣植田耕地課長、堤技手と共に來郡植田地内鮫川の護岸工事場を視察して本日中通り地方へ向つた

昨日の入札米

既報 平農業倉庫の産米共同販賣

植田も都市計劃

近く富安技師が來町

發展振りを注目

植田町は過般町會の決議に依つて平、小名濱兩町と同様都市計劃案を實施する事となり目下縣當局と打合せ中であるが縣では近く富安技師の一行を派して區劃其の他の實地調査を行ふ筈であり目下工事中の昭和八組工場と共に同町將來の發展振りは大いに注目されて居る

第一校の書道入賞

平第二小學校は今日より十五日迄四日間同校講堂に於て過般縣下小學校兒童書道展覽會に入賞した三十餘校の成績品と併せ書初め展覽會を開催するが入賞兒童は一年梅森紀子外三十七名、二年横山八重子外三十七名、三年吉

篠山校長出縣

平第一小學校校長は學校事務歸郷の途にのぼつた氣遣はれた母の病は幸に順調で日々に快癒に赴くを得たので、今は既に心安しと、北歸の途に就く途中適々仙臺に寄つた處、歸省中に感染したのか罹病の不安に襲はれ、病院に投ずる間もなく其症忽ち激烈、人事不省に陥ること十數日、治療望なしとして死室にさへ移さるゝに到つたが、天命の未だ盡さざるものあつたか、次第々々に恢復の運に向ひ、九死の中に一生を拾つてや

本炭組合決算

郡本炭同業組合は來る十四日午前十時より團體事務所樓上に於いて役員會を開きエラサに到つては洵に測り知るべからずだ、此上徒に埋もらし置くは實を泥中に置くと同様、惜いものだと自ら瀕りに周旋し、勸むるに官途に就くを以てした。豪商武富某は、又之を聘して家政の管理を委ねん事を乞ふたが、他人の配下や、使用者たる事は我年來の志にも非ずとて、何れも體よく之を謝絶したものであつたが、江自身は結局如何なる方途を求めんとするに詳細。

平町人事

古市、高畑、海野、橋本、木村、熊谷の各訓導が指導に當ると

職員体育練習

平第二小學校体育部は今後毎月曜日を期し放課後各職員が教練、徒手体操、器械使用、競技、遊戯、球戯等を練習する事になつたが野原

成照子外三十八名、四年櫻庭道子外三十五名、五年櫻庭美代外四十七名、六年根本ツネ子外三十八名、高一青山佳子外三十八名、高二廣澤好外二十六名、合計三百四名である

平局去月成績

平郵便局去月中的状況は切手賣上は窓口賣が四千四圓七十五錢で前年同期より三百九十四圓七錢の増收無集配局が一萬二千二百二十七圓八二錢で二百十八圓二十五錢の減集配局は四萬五千八百八十一圓七十六錢で前年より二千四百一圓九十二錢の大増收を見た次に市外電話料は二千七百十九圓三十八錢で五百二十五圓四十三錢の増電報料も前年より五十三圓八十一錢の増收である

木炭事務打合

郡本炭同業組合指導員の事務打合せ會は來る十四日午後一時より團體事務所樓上に開かれる

職員体育練習

平第二小學校体育部は今後毎月曜日を期し放課後各職員が教練、徒手体操、器械使用、競技、遊戯、球戯等を練習する事になつたが野原

本炭組合決算

郡本炭同業組合は來る十四日午前十時より團體事務所樓上に於いて役員會を開きエラサに到つては洵に測り知るべからずだ、此上徒に埋もらし置くは實を泥中に置くと同様、惜いものだと自ら瀕りに周旋し、勸むるに官途に就くを以てした。豪商武富某は、又之を聘して家政の管理を委ねん事を乞ふたが、他人の配下や、使用者たる事は我年來の志にも非ずとて、何れも體よく之を謝絶したものであつたが、江自身は結局如何なる方途を求めんとするに詳細。

平町人事

古市、高畑、海野、橋本、木村、熊谷の各訓導が指導に當ると

職員体育練習

平第二小學校体育部は今後毎月曜日を期し放課後各職員が教練、徒手体操、器械使用、競技、遊戯、球戯等を練習する事になつたが野原

本炭事務打合

郡本炭同業組合指導員の事務打合せ會は來る十四日午後一時より團體事務所樓上に開かれる

職員体育練習

平第二小學校体育部は今後毎月曜日を期し放課後各職員が教練、徒手体操、器械使用、競技、遊戯、球戯等を練習する事になつたが野原

店主	か	を	運	れ	て	行
店員	か	を	運	れ	て	行
食	正	正	正	正	正	正
堂	シ	シ	シ	シ	シ	シ
茶	イ	イ	イ	イ	イ	イ
場	酒	酒	酒	酒	酒	酒
場	場	場	場	場	場	場

平。田町
レストサロン
電二五三番

古市、高畑、海野、橋本、木村、熊谷の各訓導が指導に當ると

平町人事

△田町五八 當時東京市王子區下十條町森本勝二氏
三男義雄
△彌宣町二一 松崎榮次郎
氏二女照子

職員体育練習

平第二小學校体育部は今後毎月曜日を期し放課後各職員が教練、徒手体操、器械使用、競技、遊戯、球戯等を練習する事になつたが野原

市制調査機関

大平市建設の基礎愈々成る

昨日委員の初顔合 先づ各部長を決定

昭和十二年度には是非市制を實施する意氣込みで夫れ迄に市制に關する一切の調査研究を進め總べての準備工作を遂げる爲め這般平町に於いて現町議及び

町長推薦に依る公民

十名を委員に網羅する大調査機關が『市制施行調査委員會』と銘打つて組織されたる事は既記の如くであるが初顔合せの總會は昨日午後二時から青沼町長を委員長として町會議事堂に開かれ先づ部長を各部に於いて互選決定した、此の部長を

常任委員に當て近く

會合して調査方針を決定し左記の各部門が夫々實際活動に移る筈であり愈々待望の大平市建設は年頭早々其の基礎を確立するに至つた(○印は部長 ○印は公民推薦)

政 部

- 井上 茂作
- 川崎 文治
- 猪狩 觀徳
- 吉田 五平
- 佐藤 幸太郎
- 馬目 武之助
- 山崎 清三
- 諸橋 久太郎
- 教育及社會施設部
- 花澤 久一郎
- 吉田 寅之助

- 萩原 義雄
- 鈴木 光吉
- 緑川 喜三郎
- 大矢野 泰次郎
- 大田 隆
- 産業及資源部
- 會川 延太郎
- 佐々木 龍若
- 堀 喜一
- 多田 井笑次郎
- 吉村 安治郎
- 野崎 滿藏
- 阿部 政右門
- 猪狩 庄平
- 土木運輸交通部

- 小野 伊佐治
- 高橋 龜松
- 坂本 隆藏
- 荒井 淺次郎
- 新井 榮太郎
- 草野 七三助
- 警備衛生部
- 關内 正一
- 根本 品藏
- 小松 茂
- 酒井 清
- 馬目 雅治
- 大森 正茂
- 堀江 正茂

迷ひ子の

火事ヤーイ

慌てた電話が

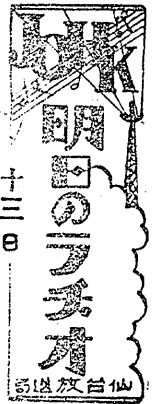
自動車啣筒三臺走らす

昨十一日午後二時頃平署の電話へ慌てた男の聲「只今新川町の佐藤鐵工場が火事です」と急報して来たので係りの橋本部長以下一とばかり係員を督して自動車啣筒三臺で現場に飛んだが火元の佐藤工場は火事どころか煙も上つて居ないので「迷ひ子の火事ヤーイ」と探す仕末よく調べると同工場で鐵板焼きに使用した酸素機からの物凄く火花を

防毒覆面

平青年訓練所にて

防毒覆面を二ヶ購入したので今十二日第一校々庭でこれが使用方法的の實地教練を行つた



明日のラジオ
西の風曇り
今夜も明日も北

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 「おみやがどんなにつよいでしよう」古田誠一郎
- 後六、二五 農村副業講座 「果實外雜話の話」星野佐紀
- 後七、三〇 漫談西村樂天
- 後八、〇〇 新日本音楽又は長唄東京音楽學校邦樂部
- 後九、〇〇 時事解説 外務省情報部第三課長佐藤忠雄
- 後九、三〇 時報 ニュー

無鐵砲な大綱に

魚道を中斷されて

久之濱が惹起した告訴問題

平檢察局清田檢察事は双葉郡久之濱漁業組合長木村倉吉理事新妻吉之助、同佐々木糸平の三氏が山野邊辯護士を代理人として石城郡四倉町字新町四九漁業坂本嘉兵衛氏を漁業法違反で告訴した事件を取調中であつたが被告坂本は今十二日罪狀明白となり起訴され直ちに關口判事より略式罰金三百圓に處された

亭主の

立腹御尤も

通帳迄持つて駆落

赤井村字高萩日雇業吉田虎吉長トキ(三)は去る十月隣家に住む山形縣鶴岡市生吳服行商人西村由雄(三)と亭主の貯金通帳を持出し何れへか駆落したので亭主はカ／＼になつて本日平署へ捜査方を願ひ出た

美麗な通袋

既報平

郵便局で今年から据置月掛貯金の新加入者に配給する美麗な通袋が此程到着したので近く配布すると

町長新年賀宴

青沼町長は昨十一日午後五時より住吉屋本店に各種団体

氣象通報 番組

- 前七、〇一 寒稽古實況
- 京都帝國大學 大野熊雄
- 前九、三〇 子供の時間
- お話し松焚祭「藤原勉
- 前一〇、〇〇 日曜勤行
- 鎌倉建長寺派管長 菅原時保
- 前一一、〇四 講演 東大教授 今井登志喜
- 前一一、一〇 講演 當山春三
- 後八、五〇 滿洲より◎新

書道の講習會

平第

二小學校内書海社平支部は明十三日書道の大家半谷松湖氏を招き書道講習會を催す

裁判所たより

△大浦村大字上仁井田字横川料理店業徳永徳太郎(五)夏井村大字藤間字林九左官職坂本和義(三)高久村大字下高久字原四九農箱崎豊

今でも年賀状が

三四千通宛ある

平局の郵便物依然輻

平郵便局の郵便物の中には未だ年賀状が多數にあり其數三、四千通に達するので同局の一號便は普通二千通位のものに現在六千通位に増加して居り未だに正月気分が去らないと

平職業紹介所報告

回人を求める方

- △手袋内職 四十以下 出 來高拂
- △回職を求める方
- △女工 三十九才 尋二修
- △探炭夫 二十才 尋卒修
- △出前持 廿二才 五修以
- △小使 五十一才 高卒
- △上何れも給料面談



明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史
(畫) 野口源

第二十七回

建白書(八)

「要りもしない人物が冠を頂いて、職に就いてをるし、有爲有才の士が、市井陋屋に天下を憂へてをる。人材を市井に求めようといふのが新時代の要求なのぢやが、その人材は、たとへば君の如く硬直正廉でなか／＼に官に就かぬどうぢや大志賀、おぬし一番、角を矯めて新政府の一席を占めてみる氣はをいかな」

「せつかくの御言葉ではござりますが、小生も、とより、彰義隊再擧の疑ひを蒙つて、巡察共に追はれてをる身、潜越でござるによつて御辭退申す」

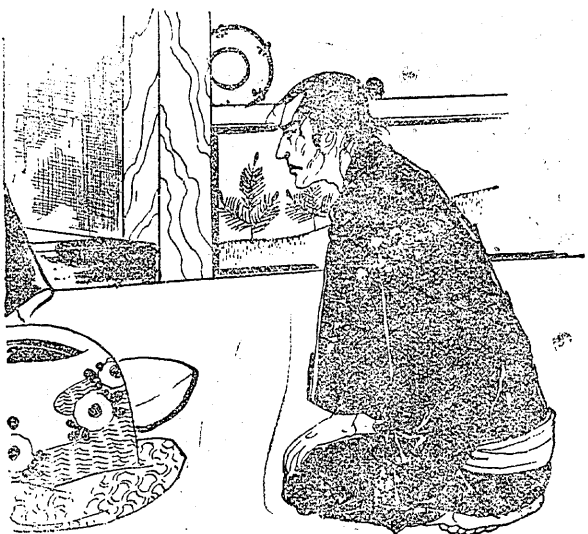
「いや、そのやうにかたくなを云ふものではない。維新のどさくさに、は唯人も一度に敵をつつた。いまさら彰義隊でもあるまい」

「ですけれども、小生はかに志もござれば、仕官の事はいまいし……」

「さうか、なるほど、野にも偉人があつて政治を監督吟味して貰はずならん。……第七、酒食ノ交厚ク、道義ノ交薄シ……」

「當路の大官、地方の……」

事、みなそれではござらぬか、徳川の治世には、道義廢れたといふてもまだ、これほどではなかつた。今日、大隈、伊藤の徒輩が築地の梁山泊へたはれ女を招じ、あるひは濱の家あたり旗亭において、酒食のあ



「これは、まさに、目下世論沸騰してをる、鐵道敷設外債事件を諷諷したものも心得ます。大隈の如き賣國の奴は、一刻もはやく政府の要職から追ふべきでござる」

「大隈は、諸々八方から非難されてをるのう。もとより大隈とて、國を賣らうと外債事件を醸したものでないが、やはりそれ、この横山のいふとおり、外交人に對し、約定の立方輕卒であつたためぢや」

「ですから、その輕舉輕卒の人物を政府要路にをくは

ひだに政治を按配すると聞か、じつに言語同斷なことでござる」

「いや、汗顔の至りぢや。……第八、外交人ニ對シ約定ノ立方輕卒ナルヲ以テ物議沸騰ヲ生ズルコト多シ。これはどうぢや」

三條公に、一際乗出した

國を危うする基でござる」

「だが、日本も、外國の風を倣ふてより日も浅い、いはまだ新舊の混沌時代ぢや、種をまく人の一二度の失敗は、將來の教訓として寛容したいものぢやよ……第九、黜陟ノ大典立タズ多クハ愛憎ヲテ進退ス。

春日某ノ如キ廉直ノ士ハ却ツテ私恨ヲ啣ミ、冤罪ニ陥ル數度ナリ岩倉、徳大寺ノ意中ニ出ヅルト聞ク……よくも三條とは云はなんだのう」

「その文中、春日某とあるのは……」

「先般諷を蒙つて困圍の人となつてをる、元奈良縣知事、春日潜庵のことだ」

「ではあの、硬骨をもつて鳴らした、陽名學者の春日潜庵が、獄につながられてをると申されますか」

「いかに」

「それは無茶だ。岩倉具視卿等の意中に出づとあるがまこと相違がござりませぬか」

大志賀は氣色はんで訊ねた。

毎度有難うございます

エビフライ
ピフテキ

洋食
喫茶
宴会

コンパル

平町前新道通り
TEL.666

市原醫院

平町 田町
電話一四四番

米國製刺皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮温湯

丹波博士創製セキドメ

たんはあめ

靈藥ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿康藥舖

縣社ノ下 電話四四話

ハタケ、ヤケド、キリキズ、タムシ、子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

うまくてセキがヨクトマル

ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレすべて化膿したものを切らずに癒る

内科

川井内科診所

川井安子

平町(電話二四三番)

体温計の検査日です

10日 検新

機設 お宅の體溫計は?

◎正確な体温計を御使用下さい

◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人

西村屋藥局

平・二 電三番

磐城セメント會社特約店

久全屋藥局

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は(久)の生命なり

外科 門專 X

科線光

上田外科醫院

平町南町
電話一九二番

是非!

御融通には御用命下さい

萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番